

# 『Cooling Break』の実施について

2020年版

今大会は、(公財)日本サッカー協会策定の「熱中症対策ガイドライン」に従い、『Cooling Break』または「飲水タイム」を行います。各チーム確認していただき、選手・帯同審判・関係者等への周知をお願いします。

◆WBGT = 28℃ (人工芝は25℃) 以上の場合は『Cooling Break』を行う。

◆WBGT = 25℃ (人工芝は22℃) 以上の場合は「飲水タイム」を行う。

**今大会に限り-3℃で対応する。(28℃→25℃, 25℃→22℃, 22℃→19℃)**

## 『Cooling Break』

前後半1回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した頃に3分間の『Cooling Break』を設定し、選手と審判員は以下の行動をとる。  
(3分間とは、試合を中断する時間。よって、ベンチ(日影)に入っている時間は3分には満たないということになる。)

- ① 日影にあるベンチに入り、休む。
- ② 氷・アイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠径部)を冷やし、必要に応じて着替えをする。
- ③ 水だけでなくスポーツドリンク等を飲む。

<留意点>

- ・原則として試合の流れの中で両チームに有利・不利が生じないようなアウトオブプレーの時に、主審が判断して設定する。
- ・戦術的な指示も許容する。
- ・チームが、カラダを冷やすための器具を持ち込む際は、事前に大会本部の了解を得る。
- ・審判員は[Cooling Break]の時間を遵守するため、試合再開時には選手に速やかにポジションに戻るよう促すと同時に、出場選手の確認を行う。
- ・サブメンバーは出場メンバーとの識別のため必ずビブスを着用する。

『Cooling Break』に要した時間は「その他の理由」によって費やされた時間として前後半それぞれの時間に追加される。

3分間とは、試合を中断する時間。

よって、ベンチ(日影)に入っている時間は3分には満たないということになる。

【各チームで簡易テント等の準備をしてください。】

※『Cooling Break』の実施に伴い、完全に日陰を確保できない場合、ベンチ付近に自チームのテント等の設置を認める。

熱中症対策詳細については日本サッカー協会 HP (<http://www.jfa.jp/>) より確認してください。

熱中症対策ガイドライン ([https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke\\_guideline.pdf](https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf))

熱中症対策ガイドラインについて<FAQ(想定される質問とその回答)>

([http://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke\\_faq.pdf](http://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_faq.pdf))